

- 問1 津軽塗や天童将棋駒のように、東北地方の各地で古くから伝統的工芸品の生産が発達してきた背景には、この地域の気候条件が大きく関係しています。その理由として最も適切なものはどれですか。(2024年 青森県公立入試 類似)
1. 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから
 2. 夏期に雨が少なく農作業ができないため、代わりの産業として行われたから
 3. 急速な工業化が進み、大規模な工場が製品を大量生産することが可能になったから
 4. 一年を通して温暖な気候であり、原材料となる植物の栽培が容易だったから
- 問2 東京駅から東北新幹線に乗り、関東地方から北上して東北地方に入った際、最初に通過する県はどこか。この県は東北地方の最も南に位置しており、交通網の整備に伴って工業が発展した特色を持つ。(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 福島県
 2. 宮城県
 3. 山形県
 4. 岩手県
- 問3 東北地方の果樹栽培について、2015年の統計でりんごの収穫量が全国1位であり、西洋なしの収穫量でも全国2位となっている県はどこですか。(2017年 山口公立入試 類似)
1. 青森県
 2. 山形県
 3. 福島県
 4. 岩手県
- 問4 東北地方の太平洋側に位置する宮城県の中心都市について、その都市の機能的な特徴と行事の組み合わせとして、最も適切なものを選択してください。(2021年 千葉県公立入試 類似)
1. 国の出先機関や企業の支店が集中する地方中枢都市であり、夏には七夕まつりが行われる。
 2. 内陸の盆地に位置する県庁所在地であり、夏には花笠まつりが行われる。
 3. 北東北の交通の要所となる中心都市であり、夏にはさんさ踊りが行われる。
 4. 日本海側に位置する県庁所在地であり、夏には竿燈まつりが行われる。
- 問5 岩手県から宮城県の沿岸部にかけて見られる、山地が沈み込んで形成された複雑に入り組んだ海岸線を何と呼びますか。また、その地形的特徴を活かして盛んに行われている産業の名称との組み合わせとして正しいものを選びなさい。(2019年 高知県公立入試 類似)
1. リアス海岸 — 養殖業
 2. 干拓地 — 稲作
 3. 大陸棚 — 沖合漁業
 4. 砂丘 — 果樹園
- 問6 奥羽山脈が東北地方の気候や生活に与える影響について、地形的特徴を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。(2026年 長野公立入試 類似)
1. 冬に日本海から吹きつける湿った季節風が山脈に突き当たることで、山脈の西側に多くの雪をもたらす。
 2. 山脈が太平洋からの冷たく湿った風である「やませ」を遮るため、山脈の東側は常に高温多湿になる。
 3. 山脈の標高が極めて低いため、季節風の影響をほとんど受けず、日本海側と太平洋側の気候差は小さい。
 4. 山脈の至る所になだらかな高原が広がっているため、大規模な牧場経営が山脈の全域で行われている。
- 問7 東北地方の夏期の気温分布を調べた統計資料において、8月の月平均気温を比較すると、太平洋側の都市よりも日本海側の都市の方が高くなる傾向が見られます。この要因の一つとして、太平洋側から吹く冷たく湿った風が奥羽山脈を越える際、日本海側へ乾燥した高温の風となって吹き下ろすことが挙げられます。この現象を何と呼びますか。(2014年 愛媛公立入試 類似)
1. フェーン現象
 2. 上昇気流
 3. 季節風
 4. やませ
- 問8 日本の都市の成り立ちにおいて、歴史的に領主の住む城を中心に家臣や商人が集められて形成された町を何というか。現在の多くの県庁所在地の原型ともなっている。(2018年 北海道公立入試 類似)
1. 城下町
 2. 門前町
 3. 港町
 4. 宿場町
- 問9 東北地方の太平洋側では、特定の気象条件によって農作物の収穫量が大きく減少する「冷害」が発生することがあります。この冷害が起こる仕組みと直接的な影響について説明したものと、最も適切なものを選んでください。(2026年 栃木公立入試 類似)
1. 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。
 2. 日本海側から山を越えて吹き下ろす高温で乾燥した風により、農地が乾燥し、作物の水分が奪われて枯れてしまう。
 3. 赤道付近から北上する暖かく湿った空気の影響で、記録的な大雨が長時間降り続き、農地が浸水被害を受ける。
 4. シベリア高気圧から吹き出す冷たく乾燥した北西の風により、激しい吹雪が発生し、冬の農作物が凍結してしまう。
- 問10 東北地方南部に位置する福島県では、高速道路の沿線などに「工業団地」が多く造成されている。このように、福島県で内陸部の工業が発展した背景として最も適切な説明はどれか。(2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。
 2. 内陸部は海沿いに比べて冬の降雪量が非常に少なく、工場の操業を安定させやすいため。
 3. 大規模な稲作を行うための広大な土地が不足しており、農業から工業への転換を急いだため。
 4. リアス海岸を利用した港湾施設が未発達であり、陸上輸送に頼らざるを得ないため。
- 問11 東北地方の中央部を南北に約500kmにわたって走り、日本で最も長い距離を持つ山脈の名称として正しいものを選んでください。(2022年 埼玉県公立入試 類似)
1. 奥羽山脈
 2. 出羽山地
 3. 北上高地
 4. 越後山脈
- 問12 東北地方などにおいて、高速道路のインターチェンジ付近に半導体や自動車部品などを製造する工場が集まる区域が多く見られます。このように、計画的に工場を集積させるために整備された一画を何といいますか。(2025年 青森県公立入試 類似)
1. 工業団地
 2. 臨海工業地帯
 3. 商業地域
 4. カルデラ
- 問13 東北地方の三陸海岸沖は、北から流れてくる寒流と南から流れてくる暖流がぶつかり合うことで、世界的な漁場となっています。この三陸海岸沖を北から南へと流れる、栄養分が豊富な寒流の名称として正しいものを選びなさい。(2019年 広島公立入試 類似)
1. 千島海流 (親潮)
 2. 対馬海流
 3. リマン海流
 4. 日本海流 (黒潮)
- 問14 宮城県の産業や交通の背景について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。(2020年 東京都公立入試 類似)
1. 東北新幹線の開通や高速道路網の整備により、仙台市は周辺県を含めた東北地方全体の経済的な中心地としての役割を果たしている。
 2. 県内の鉄道網は、広大な平野部のみに限定されており、西側の険しい山脈を越える鉄道建設は技術的な理由から断念された。
 3. 1980年代に新幹線が通ったものの、仙台市の人口は減少傾向にあり、現在は政令指定都市の要件を満たしていない。
 4. 仙台市の公共交通機関はバスが中心であり、地下鉄の建設は地盤の関係で一度も行われていない。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 雪が多く冬の間は農作業ができないため、屋内でできる副業として行われたから	東北地方などの日本海側は、冬に季節風の影響で雪が多く降る豪雪地帯が多く見られます。そのため、冬の期間は屋外での農作業ができない状態が続きます。農家の人々は貴重な現金収入を得るために、農閑期となる冬場に屋内で地元の資源を使った漆器や木製品などを作るようになります。これらが伝統的工芸品として各地に定着しました。
問2	答え 1 福島県	福島県は東北地方の南の玄関口に位置しており、新幹線や高速道路によって関東地方と強く結びついている。地理的に東京などの大都市圏に近いことから、東北地方の中でもいち早く工業化が進んだ。宮城県は福島県の北に位置し、山形県は奥羽山脈を挟んで西側に位置している。
問3	答え 1 青森県	青森県はりんごの生産量が全国の約半分を占める日本一の産地です。また、西洋なしの生産においても山形県に次いで全国2位となるなど、冷涼な気候を活かした果樹栽培が盛んに行われています。対して、西洋なしで1位、りんごで3位となるのは山形県です。
問4	答え 1 国の出先機関や企業の支店が集中する地方中枢都市であり、夏には七夕まつりが行われる。	仙台市は、札幌市、広島市、福岡市などと同様に、その地方全体の経済や行政を統括する「地方中枢都市」に分類されます。中央官庁の地方支分局（出先機関）や、広域的なビジネスを展開する企業の支店が多数置かれているのが特徴です。また、観光資源としても重要な「七夕まつり」は、同市の文化的な中心性を象徴する行事です。
問5	答え 1 リアス海岸 — 養殖業	三陸海岸の南部に見られるような、入り組んだ地形の海岸をリアス海岸と呼びます。湾内は周囲の山地によって外海からの強い波が遮られるため、一年を通じて波が穏やかであるという特徴があります。この環境を活かして、移動のできないいわかめ、カキ、ホタテなどの「育てる漁業」である養殖業が発展しました。
問6	答え 1 冬に日本海から吹きつける湿った季節風が山脈に突き当たることで、山脈の西側に多くの雪をもたらす。	奥羽山脈は東北地方を東西に二分する高い障壁となっています。冬には日本海を渡って湿り気を帯びた季節風がこの山脈にぶつかるため、山脈の西側（日本海側）では世界的な豪雪地帯が形成されます。一方、夏には太平洋側から「やませ」が吹きますが、山脈に遮られることでその影響は主に東側に限定され、東西の気候の差を生む大きな要因となっています。
問7	答え 1 フェーン現象	東北地方の夏は、オホーツク海高気圧から冷涼な「やませ」が太平洋側に吹き込みますが、この風が奥羽山脈を越える際にフェーン現象が発生し、日本海側の気温を上昇させます。その結果、山脈を隔てた日本海側と太平洋側では、同じ東北地方であっても夏期の気温分布に明確な差が生じます。
問8	答え 1 城下町	戦国時代から江戸時代にかけて、領主の居城を中心に計画的に造られた町であり、武家屋敷や町人地が配置された。現在、多くの県庁所在地がかつての城下町に由来している。一方、門前町は寺社の前、港町は港、宿場町は街道沿いに発展した町である。
問9	答え 1 太平洋から吹き込む冷たく湿った北東の風により、気温の低下や日照不足が続くことで、稲などの成長が妨げられる。	冷害の主な原因は、初夏から夏にかけて吹く「やませ」です。この北東の風が長期間吹き続けると、太平洋側の地域を中心に気温が平年より大幅に低くなり、さらに濃霧によって太陽の光が遮られます。その結果、稲などの農作物が十分に育たなくなり、収穫量に深刻な打撃を与えます。これに対し、山を越えて吹く高温乾燥の風はフェーン現象と呼ばれ、冷害とは逆の現象です。
問10	答え 1 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。	福島県は東北自動車道や常磐自動車道といった高速道路網が充実しており、関東地方という巨大な消費地に近い利点がある。かつて日本の工業は臨海部に集中していたが、高速道路の整備によって、内陸部でも部品の調達や製品の出荷が効率的に行えるようになったため、福島県の高速度道路沿いには多くの工業団地がつけられるようになった。
問11	答え 1 奥羽山脈	東北地方の「脊梁（せきりょう）」とも呼ばれ、青森県から福島県を経て栃木県境まで連なる日本最長の山脈です。西側にある出羽山地や、東側にある北上高地と位置関係を区別して覚える必要があります。
問12	答え 1 工業団地	高速道路網の整備に伴い、交通の便が良いインターチェンジ周辺の内陸部に、計画的に工場を集めるために整備された場所のことです。従来、日本の工業は原料の輸入や製品の輸出に便利な海沿いの「臨海工業地帯」に集中していましたが、近年は地価が安く広大な土地を確保しやすい内陸部への進出が進んでいます。
問13	答え 1 千島海流（親潮）	東北地方の東側に位置する三陸海岸の沖合では、北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）と、南から北上してくる暖流の日本海流（黒潮）が合流します。この寒流はプランクトンを豊富に含んでおり、魚を育てる「親」のような役割を果たすことから親潮とも呼ばれます。
問14	答え 1 東北新幹線の開通や高速道路網の整備により、仙台市は周辺県を含めた東北地方全体の経済的な中心地としての役割を果たしている。	宮城県は、南北に走る東北新幹線や東北自動車道に加え、東西に走る鉄道や道路によって隣接する山形県などとも結ばれており、東北地方の交通の結節点となっています。特に仙台市は、地下鉄やバスなどの交通網が高度に発達したターミナル駅を核として、政治・経済の中核機能を担う政令指定都市へと発展しました。